

(別紙)

第 30 回産学高分子研究会報告書

一般財団法人高分子研究所主催の第 30 回産学高分子研究会が令和 7 年 6 月 20 日(金)14:15 から 16:55 まで、大阪大学理学研究科 J 棟 2 階南部陽一郎ホールにて開催された。高分子研究所理事長の挨拶に続き、以下の 5 件の発表がプログラム記載の通り実施された。大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻教授として着任された松宮先生の 40 分講演に続き、この 1 年以内に同専攻の准教授あるいは助教として採用された 2 名の研究者による研究紹介、参画理事会社から 2 件の講演があり、財団理事、評議員、研究所研究員並びに大阪大学の大学院生・学部生が南部ホールに集った。今回、大学からは高分子物理化学の研究を主とする内容であったが、配列・形態制御が可能な重合方法も紹介され、広く関心がもたれていた。企業からは三菱ケミカル及び日本触媒における研究・開発マネジメントやバイオ関連の事業展開等、多岐にわたる紹介があり、研究会後の懇親会でも活発な議論や意見交換が行われていた。

【プログラム】(敬称略)

原田 明 (高分子研究所理事長・大阪大学産業科学研究所)

開会挨拶

松宮 由実 (大阪大学 大学院理学研究科)

高分子の分子運動モデルの実験的検証

山岡 賢司 (大阪大学 大学院理学研究科)

可逆的結合をもつ高分子の界面拡散と接着性

高橋 倫太郎 (大阪大学 大学院理学研究科)

重合と自己組織化のインタープレイ

笹岡 泰 (三菱ケミカル株式会社 グローバルリサーチパートナーシップ部)

三菱ケミカルのオープンイノベーション戦略

朝比奈 雄也 (株式会社日本触媒 健康・医療事業推進本部)

中分子医薬品原薬の開発製造受託事業について

(報告者：山口浩靖)